

DSD/JICA Project on Disability



Department of Social Development (DSD) / Japan International Cooperation Agency (JICA)
Project for the Promotion of Empowerment of Persons with Disabilities and Disability Mainstreaming

社会開発省の5カ年計画にプロジェクト活動が導入されました！

プロジェクトは、2019年3月に第5回合同調整委員会を開催しました。会議は社会開発省コミュニティ開発部ピーター一次官補が進行を務め、社会開発省、プロジェクトサイトがあるリンポポ州、フリーステート州、東ケープ州、クワズル・ナタル州の行政官、リンポポ州コリンズ・チャバネ市役所職員、市議会議員、サイトの障害者代表、日本大使館、JICA南アフリカ事務所など計30名が参加しました。会議の主なテーマは、①障害者のエンパワメントと障害主流化（DEM）活動に関する社会開発省およびプロジェクトサイトの4つの州による活動進捗報告、②DEMガイドライン第1版の発表、③2019年度活動計画の承認です。



（写真）第5回合同調整委員会で議論する参加者たち

まずは、社会開発省の5ヶ年活動計画（2019～2023）に「地域に根ざしたインクルーシブな開発」が記載されたことが発表されました。これは、プロジェクトで取り組んできた「障害者のエンパワメントと障害主流化（DEM）」の推進を通し、エンパワメントされた障害者、家族、地域関係者が、ともにインクルーシブなコミュニティをつくることを目指す活動です。これにより、社会開発省本省においてプロジェクト活動の一部予算が確保されたこととなります。



（写真）第5回合同調整委員会後の記念撮影

次に、2019年4月より社会開発省主導でプロジェクト活動を実施する東ケープ州およびクワズル・ナタル州の担当行政官が、プロジェクトサイトとして、オーアール・タンボ郡とイレネベ郡を選定したことを発表しました。今後、両州では関係者会議やDEM導

入ワークショップなどを実施し、活動を本格的に始動させます。

さらに、リンポポ州およびフリーステート州の活動を通じて得られた教訓を基に、DEM ガイドライン（第 1 版）が完成したことが報告されました。ガイドラインは今後、東ケープ州やクワズル・ナタル州の活動成果を反映し、2020 年 2 月にガイドライン第 2 版として更新される予定です。最後に、4 つのサイトでの活動やガイドラインの更新などを含めた 2019 年度活動計画が参加者により承認されました。

東ケープ州でキックオフ会議を開催しました！

2019 年 5 月 15・16 日に社会開発省東ケープ州行政官および関係者とミーティングを行い、プロジェクトサイト（ニャンデニ市）を確定させるとともに、今後の活動計画について承認を得ました。



（写真）プロジェクト概要について関係者に説明するマンティピ課長（中央）

15 日の会議は、東ケープ州イーストロンドンで開催され、社会開発省州次官や州および郡の障害担当調整官、障害者の代表、ニャンデニ市職員などが参加しました。プロジェクトの概要や今後の活動計画については、社会開

発省のマンティピ課長およびクリシュ副課長が説明を行い、参加者からは、プロジェクトに対する大きな期待が示されました。



（写真）質問表に回答する障害者たち

翌 16 日の会議は、プロジェクトサイトのあるニャンデニ市の評議会室で行われました。会議には、社会開発省行政官、ニャンデニ市職員、障害者などが出席し、社会開発省東ケープ州行政官の進行により、作業部会メンバーが選出されました。今後は作業部会が中心となってプロジェクト活動を実施します。また、ベースライン調査として、障害者を対象とした質問票調査を行いました。今後、ベースライン調査で得られたニーズや課題を基に東ケープ州での詳細な活動計画を検討していきます！

最新のプロジェクト進捗状況は、プロジェクト Facebook ページをご覧ください！

JICA SADEM :

<https://www.facebook.com/jicasouthafricadisabilityempowermentmainstreaming/>

編集: 原田 真帆 MahoH@dsd.gov.za
上岡 廉 RenK@dsd.gov.za